

# 栃木精工、注射針を増産

## 細管内製法で新工場

【宇都宮】栃木精工 内に注射針用の細管な  
(栃木県栃木市、川嶋  
大樹社長) は、栃木市 建設する。2026年



4月の完成を目  
指し、同県小山  
市にある小山工  
場を新工場に移  
転する。新工場  
の生産規模は小  
山工場の2倍弱  
で、延べ床面積

5000平方メートル程度を  
見込む。注射針の一貫  
生産体制を強化し、堅  
調な需要が見込まれる

注射針の供給能力を高  
める。

栃木精工は、このほ  
ど太さ0・18ミリの  
細管製造を内製化  
して注射針の一貫生産  
体制を構築しており、

新工場の建設で同体制  
を強化する。栃木精工  
が細管を製造するのは  
約30年ぶり。新工場へ  
の投資額は非公表。細  
管は引き合いに応じ、  
注射針メーカーなど他  
の医療機器メーカーに  
も販売する。

延べ床面積約2000  
平方メートル。同工場は外径  
0・15ミリ、長さ300・8ミリの注  
射針を製造・出荷し、  
フル稼働時の月産数は  
従来比2倍の約400  
0万本となる予定だ。  
本格稼働時期は早けれ  
ば24年夏を見込む。

栃木県は医療福祉機  
器関連企業の集積地だ  
が、細管の製造業者は  
限られている。注射針  
の受注は堅調な一方、  
コロナ禍のような有事  
には需要が急増するた  
め、「非常時への対応  
も見据え、生産能力を  
増強する」（川嶋社  
長）という。

併せて最終組み立て  
を行う本社・栃木工場  
には約21億円を投じて  
新棟（写真）を建設し  
た。新棟は3階建てで